

事業所名

北九州市立到津ひまわり学園

支援プログラム

作成日

2025年

3月

14日

法人（事業所）理念		北九州市福祉事業団は、人と知識と技術を集結して、一人ひとりの幸せを大切に社会づくりに貢献することを基本の理念としています。児童福祉、障害福祉、高齢福祉などの多岐にわたる専門職員が、温かい心と高い倫理の下、利用者並びにご家族、地域の方たちとしっかり向き合っ社会福祉事業に取り組んでいます。年齢・性別・障害の有無に関わらず、その人がその人らしく有益に生活できるよう、専門的知識・技術の向上を目指し、常に誠実で建設的な対応に努めています。						
支援方針		お子さまの発達や特性について、ポータージプログラムなどの発達評価や行動観察、本人、保護者、関係機関からの情報を下に個別支援計画を作成します。職員や同年齢の子ども達と一緒にいろいろな経験を積み重ね、集団の一員としてのスキルを身につけるとともに、できることや楽しめることを増やしていきます。また、ご家族が安心して子育てしていけるよう、きょうだい児を含めた相談支援や情報の提供を行います。						
営業時間		8時	30分から	17時	0分まで	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 生活リズムを整え、排泄、着脱、手洗い、歯磨きなどの基本的な生活習慣動作について、お子さん一人ひとりに合わせてスモールステップで支援します。 食事については、栄養士が作成した栄養バランスのとれたメニューを提供し、個々に応じた食事の形態や食器の工夫を行います。栄養士と協力した食育指導では、食への興味や意欲が損なわれないよう支援します。特に偏食指導では、食べることの楽しさを重視しながら、嗜好や興味に配慮しスモールステップで口にできる食材を広げていきます。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ポータージプログラムを使用し、個々の発達に応じた基本的運動機能が獲得できるよう支援します。 運動遊び（トランポリン・巧技台・滑り台・トンネル・大型マット等）を設定し、全身を使った活動（粗大運動）や掴む、握る、道具の操作など、手先の動きや目と手の協応が必要とされる活動（微細運動）に取り組みます。 ブランコやトランポリンなどの感覚運動遊びや砂遊びなどの触覚遊びを通して、さまざまな感覚に親しむ機会を設けます。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ポータージプログラムを使用し、個々の発達に応じた認知機能や様々な概念の形成を支援します。 必要に応じて視覚支援を活用したり、環境調整を行い、自主的に行動できるよう工夫します。 個別の時間やクラス、グループ活動の中で、着席や注視・傾聴などの基本的学習態度が身につくよう支援します。 不適切な行動が見られた場合は、環境調整や事前の約束事などを確認しながら、望ましい行動について一緒に考えていきます。 						
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 要求、拒否、注意喚起、選択、交渉などコミュニケーションにおいて必要なスキルをことばや身ぶりで伝えられるよう支援します。 子ども同士や職員との関わりの中で、思いを伝えたり、伝わる楽しさが経験できるよう支援します。 必要に応じて、絵カードを使って自分の思いを伝え、発語を促したりコミュニケーション力を身に付けます。 困っていることや助けが必要な場面で、大人に何らかの手立てを活用して伝えられるよう支援します。 必要に応じて具体物や動作、絵カードを用い、ことばの意味理解を促します。 						
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> 集団活動や遊びを通して、楽しい経験を積み重ねながらルールや手順を理解し、集団活動に無理なく参加できるように支援を行います。 子ども同士や大人との関わりの中で、楽しい経験を積み重ねながら人間関係を広げ、自分の気持ちを知ったり相手との距離のとり方を学びます。 事前の約束や視覚支援を利用して、感情のコントロールが少しづつできるように促します。 						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 連絡帳を通して、学園と家庭の情報を共有し、家庭で起こる日常的な問題点を把握し、不安や疑問に答えます。 懇談会（個人・クラス・グループ）を通して、学園での取り組みや支援の進捗状況を確認します。 保護者勉強会を実施し、お子さまの関わり方や目標について一緒に考える機会を持ちます。 きょうだい児や父親、祖父母など、母親以外の家族にも学園での様子を知ってもらい、情報を共有する機会を設けます。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 就園・就学等について、ご家族と一緒に進路を考える機会を設け、情報の提供など、将来的な移行に向けての支援を行います。 移行の際には、移行先との引き継ぎや、保育の様子を見学してもらう機会を設けます。 	

<p>地域支援・地域連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交流保育を通して、保育所や幼稚園の子ども達と場所や活動を共有する機会を設けます。 ・必要に応じて総合療育センター支援スタッフ（PT・OT・ST・心理）と連携し、個々に応じた支援を行います。 ・相談支援事業所の相談支援専門員と定期的に情報交換を行います。 ・年間を通して保育士や社会福祉士を目指す学生の実習を受け入れます。 	<p>職員の質の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止や身体拘束、人権やコンプライアンスに関する研修を定期的に行います。 ・事業所内で基礎知識や専門知識に関する研修会を実施します。 ・講師を招いての研修会を実施します。 ・所外での研修会に参加します。
<p>主な行事等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入園式・園外保育・保育参観・夏のお楽しみ会・お兄さん、お姉さんの会・運動会・遊ぼうの会・卒園式 ・ミュージックケア・わらべうた・水遊び・季節に合わせた制作活動・避難訓練（月1回） 		